

経営比較分析表（令和元年度決算）

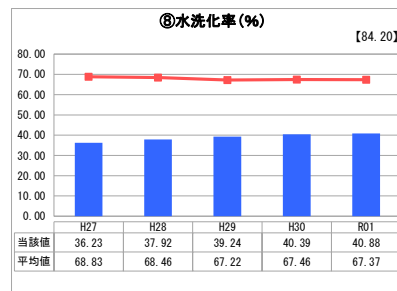
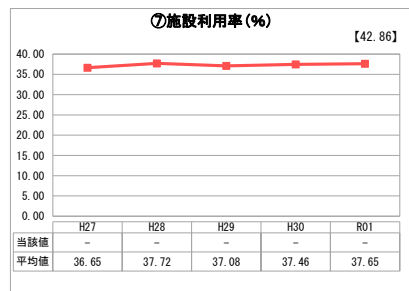
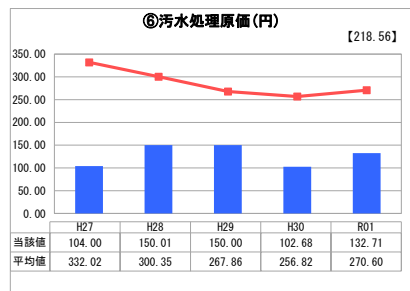
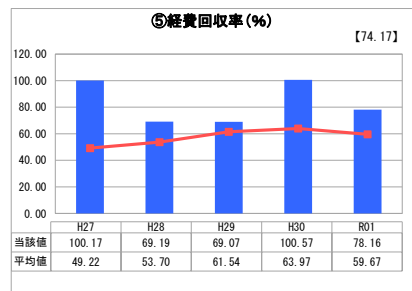
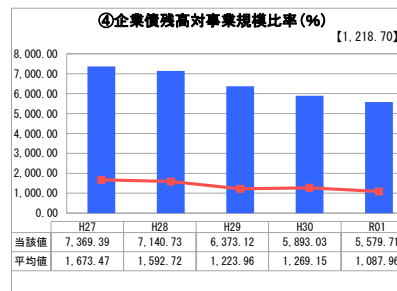
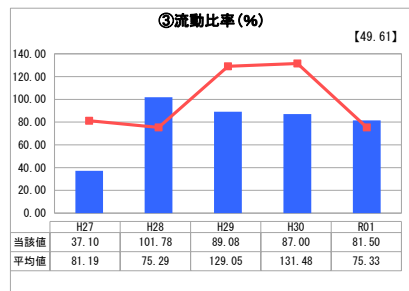
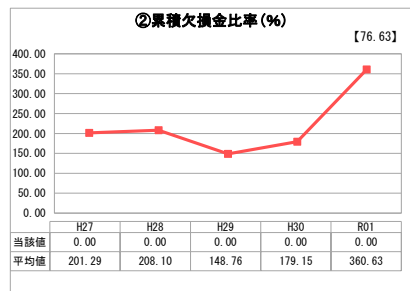
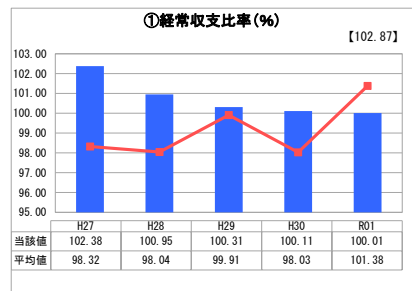
埼玉県 上里町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	特定環境保全公共下水道	D3	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20 ³ 当たり家庭料金(円)
-	57.93	3.30	100.00	2,167

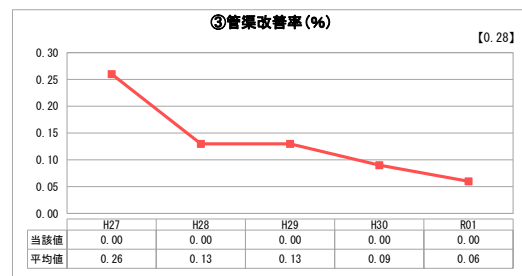
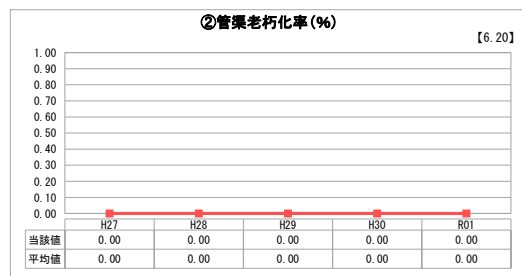
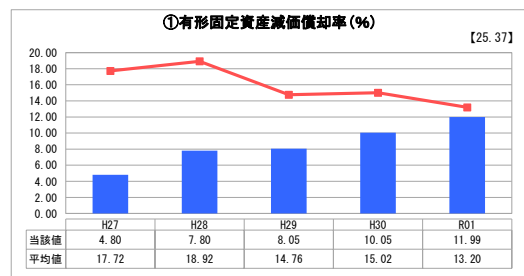
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
30,988	29.18	1,061.96
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
1,020	0.27	3,777.78

グラフ凡例
■ 当該団体値（当該値）
— 類似団体平均値（平均値）
【】 令和元年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

① 経常収支比率は100%に達しております。
 ② 累積欠損金は発生しておらず、健全と考えられます。
 ③ 短期的な支払能力を示す値で、平均値を上回っていますが、100%に届かない状態のため、支払い能力を高めるための改善を継続して図っていく必要があります。
 ④ 企業債残高の規模を表す指標で、平均値と比べ高い割合となっています。供用開始から間もなく接続率が低いことから、使用料収入が少ないことが要因と考えられます。
 ⑤ 使用料で回収すべき費用が、どの程度使用料で賄えているかを示す値で、平均値を上回っています。
 ⑥ 有収水量1mあたりの汚水処理に要した費用であり、平均値よりも低い値となっています。
 ⑦ 現在処理区域内の人口のうち、実際に水洗便所を設置して汚水処理している人口の割合を示した指標で、平均値よりも低い状況です。水洗化率の向上は収益の向上に直接結びつくため、啓発活動等をより積極的に行い、経営の改善を図る必要があります。

2. 老朽化の状況について

① 有形固定資産のうち償却対象資産の減価償却がどの程度進んでいるかを表す指標で、資産の老朽化度を示しています。事業の開始から年数も経っていないことから低い値となっていますが、更新工事を行っていないため年々上がっていく傾向にあります。
 ② 法定耐用年数を超えた管渠延長の割合を表す指標で、管渠の老朽化度を示していますが、管渠の工事はH7年度からの実施のため、耐用年数を超える管渠はなく、0%となっています。
 ③ 当該年度に更新した管渠延長の割合を表す指標で、更新の必要な管渠がないため、0%となっています。

全体総括

経営の健全性・効率性については、H27年度以降の決算では黒字となっており、経常収支比率は100%を超えて安定した状況にあります。しかし、使用料収入で賄うべき経費が使用料収入だけでは賸り切れにくい状況にあり、経営改善のためには接続率の向上が必須となります。また、今後は供用開始後の経年に伴う老朽化への対策が必要となることを視野に入れた経営を行っていく必要があります。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。